

第11回釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-10フットサルフェスティバル

開催要項

1. 目的 日頃の練習成果を競い、試合を通してルールを取得するとともに、フットサルの楽しさを実感することを目指す。またフットサルを通じて健全な心身の発育・発達を図る。
2. 名称 第11回釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-10フットサルフェスティバル
3. 主催 (一財)釧路市スポーツ振興財団 釧路地区サッカー協会 釧路フットサル連盟
4. 主管 釧路地区サッカー協会4種委員会
5. 後援 釧路市教育委員会
6. 期日 平成31年3月2日(土)
7. 会場 湿原の風アリーナ釧路
8. 参加資格
 - ① 平成30年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
 - ② 1チームから複数のチームで参加できる。
 - ③ 1チームの選手エントリーはフリーとし、小学校4年生以下の編成とする。
 - ④ 女子単独チームに限り5年生の出場を認める。
 - ⑤ 本大会参加選手はスポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
 - ⑥ 帯同審判(フットサル4級以上)を1名以上帯同できるチーム。
9. 競技方法
 - ① 1次ラウンド、順位トーナメント方式とする。
各ブロック上位2位までのチームが決勝ブロックトーナメントに進出する。
3位以下のチームでフェニックストーナメントを行う。
1次ラウンドの順位は、勝点(勝ち3、引き分け1、負け0)・当該チーム間の対戦成績、当該チーム間の得失点差、当該チーム間の総得点、グループ内の総得失点差、グループ内の総得点の順とし、同結果の場合はPK方式(3名)で決する。3チーム以上同率の場合は抽選で決する。1試合でも棄権したチームは全ての結果を0-5の敗戦とする。
 - ② 試合時間は14分(7分ハーフ・ハーフタイム2分)のランニングタイムとする。
 - ③ トーナメントで勝敗が決しない場合はPK方式(3名)にて次回進出チームを決する。
10. 競技規則
 - ① 競技規則は本年度(公財)日本サッカー協会制定の『フットサル競技規則』による。
 - ② チーム構成は指導者4名、選手フリーとする。
 - ③ 参加チームは1次ラウンドおよび順位トーナメントの第1試合のみメンバー表を提出する。第1試合に提出したメンバーが本大会のエントリー選手となる。
 - ④ 本大会において退場させられた者は次の1試合に出場できない。
1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会(4種委員会事務局)で決定する。
 - ⑤ 本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
 - ⑥ 1次ラウンドにおける警告1回はトーナメントに持ち越さない。
 - ⑦ ベンチが判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
 - ⑧ 試合球はフットサル3号球(公認球)とし、事務局で用意する。
 - ⑨ 競技者のシューズは靴底の接地面が鉛色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズとする。
 - ⑩ レガースの着用を義務付ける。装飾品は全て取り外すこと。
 - ⑪ ユニフォームは1着以上用意する。ユニフォームチェックは行わず、ピブス対応も可とする。
ゴールキーパーのピブス対応も認める。
 - ⑫ ピッチサイズは26m×18mとし、センターサークル半径2.5m、ペナルティエリア4/1円の半径5m、ペナルティマークは5mとする。
11. 参加申込 年度当初のエントリーに変更がある場合は、12月10日(月)までに4種委員長に連絡する。
13. メンバー表 プログラム用メンバー表は、1月14日(月)までに4種総務部長へメールで送付する。
14. 組合わせ 1月16日(水)の監督会議にて抽選を行う。
15. 開会式 3月2日(土)午前8時30分より、湿原の風アリーナにて行う。選手・監督は全員参加すること。
ただし参加を免除する場合もある。選手は原則としてユニフォーム着用のこと。
16. 閉会式 決勝トーナメント決勝戦終了後にアリーナにて行う。
決勝トーナメント決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加すること。
17. その他
 - ① 本大会の参加料は1チーム3,000円とする。
 - ② 前日の会場設営に、参加チーム(根室管内チームは除く)より1名以上の協力を義務づける。
 - ③ 交代要員は交代の直前を除きユニフォームの色と異なるピブスを着用すること。